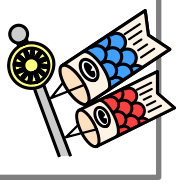
白石小学校だより

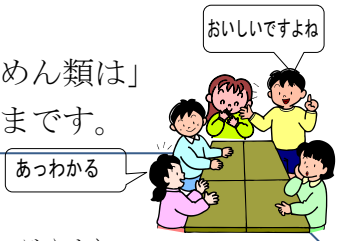
山口市立白石小学校
第２号
２０１９.5.１発行



世 間 話 タイム？　～幸せに生きる力を育みたい～

白石小学校では**朝の世間話**（**フリートーク**）をおこなっています。テーマ･話題をきめて、世間話のように聴き合うのです。ルールはお話を一生懸命に聴くこと。逆に友だちをけなしたり、人のお話をとって自分が話し始めたりはルール違反です。

話題は「将来やってみたいこと」「最近悲しかったこと」「すきなめん類は」「叱られちゃったこと」「休み時間に困ったんだ！」など、さまざまです。



ある学級では「好きなうどん」を話題として
　ぼくは「きつねうどんがすきなんですよ」（あっわかる～とつぶやき）
「あの上にのっかっている厚いあぶらげがけっこう好きで、だしをいっぱい吸っていておいしいですよね」（私も私も･･･）「私はやっぱり肉うどんが好きで肉の味が～（以下続く）」など、ほのぼのとした聴き合いもありますし

ある学級では「昨日見た虹」を話題として
　「昨日虹を見たんです」（見た！見た！僕も見た！　えっいつ？などのつぶやき）
　「すごい低いところにあって･･･サビエルからこんな感じで･･･（身ぶりで）」
　「何でできるのか？って思ったんですよ」「母さんに前聞いたんだけど、太陽の逆らしいよ」（どういうこと？）「話が違うかもしれないけど、花にシャワーで水をあげるときに虹みたいなのができるのをみたことがある」（あるある、見たことある！それって太陽の逆だったの？）
　など、日常の不思議を話し合ったり、ちょっとした悩み相談もあります。

「そうそう！わかるよ！」「すご～い」「えっどうして？」「それからどうしたの？」などと友だちの話を聴いて**笑顔でうなずき共感したり、話の続きや疑問を問いかけたりしながら、うれしい聴き方ができるようになること**をめざしています。

誰でも「そうそうわかるよ！」「それからどうしたの？」と自分の話を聴いてもらうとうれしい気持ちになります。学級の仲間と一緒にいる安心感や自己肯定感を育ててやりたいのです。

このうれしい聴き方をつくっていきたいと「世間話タイム」（フリートーク）を、今年度は学校全体で研究･研鑽の柱として取り組んでいきます。

この聴き合いの中で、自分と同じだったり違ったりする感じ方を知ること、共感をはさみながら聴き・聴かれること、言いたくても次のタイミングまで我慢すること･･･　などを体験的に繰り返します。そうして「他人の思いや背景を慮る気づき力」「他人とうまく向き合える態度」など、幸せに生きていく力が少しずつ育っていくように感じています。

山笑う季節となりました笑顔いっぱいで教職員一同がんばっていきます。

白石小学校　藤永靖彦